令和８年度　小樽市立中央小学校　学力向上改善プラン

１　児童の実態

令和７年度全国学力・学習状況調査では、国語、算数において全国平均正答率を上回ることができなかった。

特に国語では「読むこと」と「書くこと」の正答率が低く、問題文や説明的文章の読解、要約、条件に合わせて書く力に課題が見られた。算数では、記述式問題の正答率が低く、図表やグラフや書いてある内容を読み取ったり、既習事項を用いて、数や言葉、式で表したりすることに課題が見られた。

ほっかいどうチャレンジテスト正答率について４年国語が３３%、算数が７２．５%、５年生国語が７２．５%、算数が７９%、６年生国語が５３%、算数が４７%の正答率であり、前年度の目標値を達成することができなかった。

家庭学習や生活習慣については、学校評価児童アンケートでは端末を使った毎日の家庭学習を学年×１０分＋１０分できていると回答した児童は７５%、保護者アンケートでは規則正しい生活についての肯定的評価は９４．５%であり、目標値を達成することができた。小樽スマート７の約束を守っているについて３８%、家で本をほとんど読まない生徒が８３%であった。家庭学習の定着と生活習慣の改善を進めるために長期休業明けの生活リズムチェックを夏冬に実施している。

２　学年ごとの定着目標（数値目標）

＜国語科＞

学年	定着目標
１年	・ほっかいどうチャレンジテストの平均正答率を全道平均以上
２年	
３年	・確認テストを活用したテストに取り組む回数を２回以上
４年	
５年	・６年生は全国学力学習状況調査の平均正答率を全国平均以上
６年	

＜算数科＞

学年	定着目標
１年	・ほっかいどうチャレンジテストの平均正答率を全道平均以上
２年	
３年	・確認テストを活用したテストに取り組む回数を２回以上
４年	
５年	・６年生は全国学力学習状況調査の平均正答率を全国平均以上
６年	

＜学習・生活習慣（家庭学習等）＞

学年	定着目標
１年	・学年×１０分＋１０分の家庭学習を毎日できる７０%以上
２年	
３年	・保護者学校評価で規則正しい生活をしている９０%以上
４年	
５年	・生活リズムチェックシート毎日読書を１０分以上する５０%以上
６年	

３　目標を達成するための具体的な方策

（１）基礎学力の確実な定着を図る取組

①授業改善
- 「振り返り」から「見通し」のルーティーン化された授業展開
- 児童の思考を深め、互いのよさを発揮できる交流場面の工夫
- 複式学級、少人数だからできる安心・安全な授業の構築

②基礎・基本の定着と発展問題
- 学期末、確認テストの確実な実施と誤答問題の反復学習
- 朝のチャレンジタイムを活用した漢字・計算等，反復による基礎・ 基本の定着

③学習規律の確立
- 学び方のルーティン化

（２）確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

①複式授業の充実（学習リーダーの育成、自学自習の習慣）
②児童が見通しをもち、自己決定できる場の保障
③単元の見通しを持った指導目標、指導過程の工夫

（３）家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

①保護者と連携した望ましい生活習慣の育成
- 生活リズムチェックシートの活用
- 情報モラルについての学習会の実施

②家庭学習の取組や読書時間の確保
- 毎日の宿題や自学の推奨による家庭学習時間の確立

４　実施計画

年月日	計　画　内　容
Ｒ８年	・新年度、学習規律の確認
４月	・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・チャレンジテストの実施（前年度サポート問題） 〇Ｒ８全国学力・学習状況調査の実施 〇全国学力・学習状況調査　自己採点 〇標準学力調査実施（第５学年）
５月	・学力向上改善プランの見直し ・個人懇談で取組説明 ・過年度確認テストやＭＥＸＣＢＴを活用したテストの実施
６月	〇標準学力調査結果分析
７月	・チャレンジテスト（１学期末問題）の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・学校評価の実施 ・サマースクールの実施
８月	〇Ｒ８全国学力・学習状況調査結果分析
９月	・生活リズムチェックシートの実施・分析 ・保護者へ学校評価分析報告 〇保護者への調査結果の説明
１１月	〇学力向上改善プランの評価・改善
１２月	・公開研究授業の実施 ・チャレンジテスト（２学期末問題）の実施 ・小中合同学校運営協議会の開催 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施・分析 ・学校評価の実施
Ｒ９年	・授業改善プランの改善
１月	・保護者へ学校評価分析報告 ・生活リズムチェックシートの実施・分析
２月	・当該年度確認テストやＭＥＸＣＢＴを活用したテストの実施
３月	〇学力向上プランの評価 〇新学力向上改善プランの作成

５　評価方法

（１）基礎学力の確実な定着を図る取組

①学校評価（教職員自己評価・保護者アンケート・児童アンケート） による評価や全学級授業公開による評価
②全国学力・学習状況調査，標準学力調査、各学期確認テスト、チャレンジテスト等による定着度の評価
③児童の「振り返り」や児童アンケート、教職員自己評価による検証

（２）確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

①研究の成果と課題による検証および、児童の様子やノート、各種テスト結果の記録化による検証
②授業公開や研究の成果と課題による検証
③小中併置校の利点を生かし、小中共同で取り組む教育活動の実践による検証

（３）家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

①生活リズムチェックシート・保護者アンケート児童アンケートによる評価及び検証
②全国学力・学習状況調査（児童質問調査）および、家庭学習ルーブリックや計画表による評価及び検証